



発行所 岩室村役場
印刷所 巻洋印刷 K.K

No.138

岩室村の人口

(9月1日現在) 前月対比

男	4,237人	(+2)
女	4,818人	(+10)
計	9,055人	(+12)
世帯数	2,076世帯	(+1)

(住民基本台帳による)



盛会な

寿村政懇談会

— 三地区が終了 —

昭和四十三年より、いろいろの形で開催してきましたが、今年度は趣向をかえて、明治、大正、昭和の三代にわたって努力を計画し、九月二十二日から、過去における経緯をした。



間瀬地区を初日として三地区が終了いたしました。が、気軽な会合として多数の参加を得てそれぞれ盛会でした。

十月の開催日は、次の通りです。忘れずにおかけ下さい。

- 9日 南谷内、北野、白鳥、夏井、西中
- 11日 湯上、西長島、横曾根、西船越、新谷、油島、高畑
- 17日 岩室、樋曾、栄、橋本
- 18日 高橋、和5区、和10区

水道拡張第二年度事業

間瀬地区送水工事を開始

最近の水需要は、文明文化の進展と共に、日に日に増大の一途を辿りつつあることは周知の通りであります。岩室村は昭和三十七年度末より給水開始、当時の戸数一、三〇一戸、一日平均七五三tであったものが昭和四十七年度には給水戸数一、七〇八戸と、最高給水量(七月二十四日)二、五八七tと急速に使用水量の伸びをきたし、浄水能力一、二二〇tを大きくオーバーし、水問題の危機を招いておたのであります。間瀬簡水は、その源を称する関係で、夏の枯渇期に彦山系の表流水に求め、は、海水浴観光客が、現状人口の十倍にもふくれ一日一万人が推定され、止むを得ず減断水の最悪の状態を余儀なくされ、且又スカイラインの開通と共にバイ菌の散入が憂慮され、県衛生部の度重なる指導をうけております。

従って平場地区及び間瀬地区におけるそれぞれの窮状打開するため、昭和四十七年度より三ヶ年計画で、総合的な水道拡張計画を樹立し、昭和四十七年度に、吉田町浄水場の買収をなす、第一期工事として給水管の連結をいたし、現在に及んでおりますが、いよいよ昭和四十八年度は間瀬地区への送水配管工事を実施いたします。

事業費としては拡張工事費総額約二億四千万の巨費を見込み、しかも来春六月間瀬地域にも送水を予定いたしましたのであります。従ってこの時点より間瀬地域の皆さんには、メーター機を取り付けて頂くと共に平場地区と同様な料金計算になります。又越後七浦海岸無雪道路の開通が、来春に予定されておるので、それと期を一つにして送水計画をいたしておるものであります。どうか御理解と御協力を切にお願いたします。

岩中プラスチックバンド

全県下の最優秀校に

去る九月二十三日に全県(佐夜子教諭)は、下越地区内中学校器楽コンクールが代表として参加し、全県下上越市城西中学校で開催されたが、岩室中学校バンドに伍して堂々としたが、岩室中学校バンドと最優秀校の成績を獲得した。一岩中健児これにあり、一年生八名、二年生十二名、顧問指揮濱田

飲酒運転をやめよう。